

INTERVIEW

日本ガイシ社長

加藤 太郎氏

かとう たろう



日本ガイシは送電線の絶縁に用いるガイシで培ったセラミックスの成形技術などを他事業に展開している。現在の稼ぎ頭は排ガス浄化装置など自動車関連製品に移り、ここ数年は、気体分離膜など次世代技術の開発にも注力する。加藤太郎社長に国内外で競争力を維持する戦略について聞いた。

(名古屋・杉本要)

技術の先進性を追求

自動車関連製品の需要(DFP)の増加が、2011年は排ガス浄化装置やDPFの工場をメキシコ、日本で稼働した。世界的に増産体制を敷いている。

電気自動車(EV)などの普及が進む中、従来のガソリン車に頼らない製品開発は、

「混合液や混合ガスから特定の液体・気体を分離するセラミックス製の薄膜を開発中だ。また4月には名古屋工業大学と共同で研究所を設立した。リチウムイオン二次電池より大容量な電池向け材料などを手がける。有望な開発案件を絞り込み、23年以内に製品

日本は「マザー工場」

化することを考えた。一方、成長株の筆頭に位置付けるナトリウム硫黄(NAS)電池で火災事故が相次いだ。「一刻も早い原因究明のため消防当局と連携して調査している。NAS電池事業から撤退する考えは一切ない。再発防止策が確立した時点で早期に生産・販売を再開したい」

グローバルな競争下で日本企業の持つ優位性はどこにあると考えますか。

「他国にはまねできない技術力だ。だが相手は圧倒的にコストの安い新興国企業。価格競争しても勝てる見込みはなく、今の技術の先進性をいかに確保するかが重要になってくる。最近日本勢が苦戦している薄型テレビを例にとっても、先端

製品がコモディティ化するスピードが急になってきた。技術の先進性を追求すれば、既存製品の性能強化や新製品創出にもつながる。日本でもノブクリを継続するには何が必要でしょうか。

「市場として日本を見れば、成長の期待できる分野は非常に少ない。需要地はすでに海外へ移っており、円高も考慮すれば国内工場は日本市場向けを基本とすべきだ。その上でマザー工場として、最先端のモノづくりを追求する。生産技術や工程改善で得た知見を海外工場に展開すれば、全社の競争力向上を図れる。ただ、もちろん企業努力には限界がある。日本で研究開発を継続できるような環境整備も必要だ」

ジェイテクト社長

井川 正治氏

いかわ しょうじ



「同一品質のグローバル展開」を標榜するジェイテクト。旧光洋精工と旧豊田工機が合併して2006年に誕生した同社は、軸受や自動車部品、工作機械などを幅広く手がける。井川正治社長は「日本でモノづくりを行うメリットは大きく、それを続けるには一定の内需が必要だ」として、内需創出の重要性を強調する。

(名古屋編集委員・山中久仁昭)

同一品質で世界展開

製品進化に内需必要

ノブクリを進めながら、日本の手法を海外に移植していく。作業を標準化すると、作業員も、製造方法を書いたレシピを作ると、日本人は感覚・感性を数値化してレシピに盛り込み、世界中で日本と同じ品質のものができるようノブクリも行う。味付けは地域によって少しずつ変えますが、

「日本と同じ商品が売れるとは限らない。基本はお客さまに、新車への買い替えが進む。内需が生まれれば雇用も増える。二酸化炭素(CO₂)削減や電力問題は規制を見直せば、ビジネスチャンスになる。都市再生という視点で、公共建築物の耐震補強工事などにもつと予算をかけることも必要ではないか」

「約30年前の海外展開といえ、部品を日本から送って現地で組み立てる生産が主流だった。今は現地一貫生産の時代で、いかに日本で作ったレシピ通りに生産できるかが問われる。買収した企業にも日本流の手法を移植して、根付かせた企業が生き残れる。当社はどんなに苦しくてもそれをやり遂げたい」

国に対する要望は、

「車でいえば自動車重量税を軽減すれば買入が増えるし、新車への買い替えが進む。内需が生まれれば雇用も増える。二酸化炭素(CO₂)削減や電力問題は規制を見直せば、ビジネスチャンスになる。都市再生という視点で、公共建築物の耐震補強工事などにもつと予算をかけることも必要ではないか」

JTBは
挑戦します!交流文化産業
カンパニーへ。

株式会社 JTB中部
法人営業名古屋支店
〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19
キリックス丸の内ビル7F
担当: 安藤・中野
TEL.052-211-6411

萩原電気株式会社

事業内容

- 電子デバイスの販売および開発サービス
- IT機器の販売およびシステムインテグレーション
- 電子・情報プロダクツの開発・製造・販売

本社 〒461-8520 名古屋市中区東桜二丁目3番3号
TEL.052-931-3511 FAX.052-931-9414
http://www.hagiwara.co.jp/

産業コンピュータ.com
http://www.sangyo-hec.com/

HPU8100AP
パネル全面に防塵・防滴構造を採用しており、過酷な環境でも使用可能

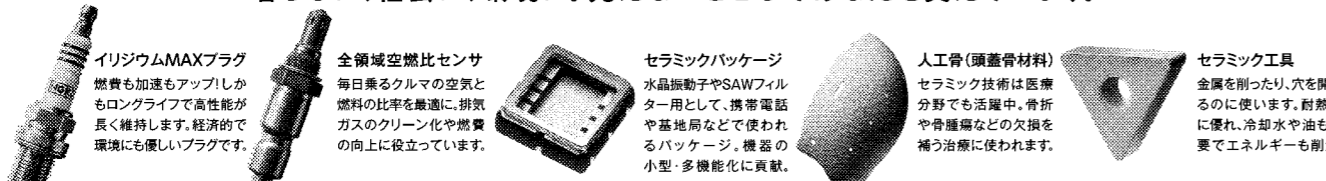
HPU8100
フルタイム異常監視可能なRASマイコン搭載
ケミコンレスの長寿命設計

小型・高信頼マザーボード、産業用高信頼コントローラ
HPU8100シリーズ

きっとあなたのそばにも。



暮らしに、社会に、環境に。見えないところであなたを支えています。



- 自動車関連事業/地球環境に対応した高度な製品を車へ、社会へ。
- 情報通信関連事業/先進技術で大容量・高速伝送時代をバックアップ。
- セラミック関連事業/新素材と、応用技術で時代のニーズに応えます。

NGK INTK 日本特殊陶業
スーパーフラグ ニューセラミック

www.ngkintk.co.jp 〒467-8625 名古屋市中区東区南14-18 広瀬ビル TEL (052) 872-5896 FAX (052) 872-5999

Daiseiki



「限られた資源を活かして使う」をテーマに
ダイセキは全国6事業所・12工場のリサイクルネットワークで
お客様のニーズに最適なソリューションを提供しています。

人と地球の笑顔と未来を守ります。

廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥の処理および資源リサイクル

土壌汚染の調査・浄化作業・無害化およびリサイクル処理

株式会社 ダイセキ

http://www.daiseiki.co.jp

本社/〒455-8505 名古屋市中区船見町1番地86
TEL 052-611-6321 (代)

名古屋事業所/TEL 052-611-6321 (代) 関西事業所/TEL 078-949-1180 (代) 関東事業所/TEL 0283-24-8006 (代)
北陸事業所/TEL 076-275-6585 (代) 九州事業所/TEL 093-701-2016 (代) 千葉事業所/TEL 0438-62-8798 (代)

ダイセキ
グループ

株式会社 ダイセキ環境ソリューション
〒455-0027
名古屋市中区船見町1番地86
TEL 052-611-6350 (代)
ホームページ http://www.daiseiki-eco.co.jp

株式会社 ダイセキMCR
〒921-0905
新潟県新潟市平出工業団地38番地25
TEL 028-664-2228
ホームページ http://www.daiseiki-mcr.com/

北陸ダイセキ株式会社
〒921-0905
新潟県新潟市平出工業団地38番地25
TEL 076-249-6363

システム機工株式会社
〒108-0023
東京都港区芝浦3丁目8番10号 MA芝浦ビル
TEL 03-5730-4020
ホームページ http://system-kk.cts.co.net/